

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3111641号
(U3111641)

(45) 発行日 平成17年7月28日(2005.7.28)

(24) 登録日 平成17年6月8日(2005.6.8)

(51) Int.Cl.⁷

F I

G 0 6 F 3/02

A 6 1 B 5/00

A 6 1 B 5/0245

A 6 1 B 5/05

G 0 6 F 3/033

G 0 6 F 3/02 3 1 0 K

A 6 1 B 5/00 M

A 6 1 B 5/00 1 0 1 E

A 6 1 B 5/00 1 0 1 K

A 6 1 B 5/05 B

評価書の請求 未請求 請求項の数 20 O L (全 10 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 実願2005-2340 (U2005-2340)
 (22) 出願日 平成17年4月15日(2005.4.15)
 (31) 優先権主張番号 093220493
 (32) 優先日 平成16年12月20日(2004.12.20)
 (33) 優先権主張国 台湾(TW)

(73) 実用新案権者 505141749
 ホ シェン-チン
 台湾 タイペイ 104 フ シン サウ
 ス ロード セクション1 ナンバー40
 11エフ

(73) 実用新案権者 505141750
 リン ユーリン
 台湾 タイペイ 104 フ シン サウ
 ス ロード セクション1 ナンバー40
 11エフ

(74) 代理人 100096758
 弁理士 高橋 剛

(74) 代理人 100114845
 弁理士 高橋 雅和

最終頁に続く

(54) 【考案の名称】 入力装置

(57) 【要約】

【課題】 体温計、血圧および心拍計、体脂肪計もしくは肌分析器を備え、それによってユーザの入力装置使用時に体温、血圧および心拍、体脂肪もしくは肌質を測定可能とする入力装置を提供すること。

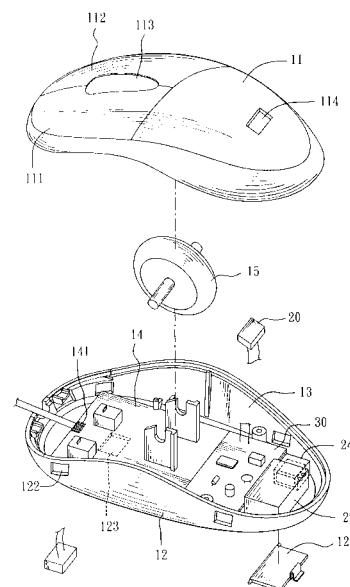
【解決手段】 上部カバーおよび下部カバーと、その間に形成された、接続インタフェースを有する電子回路を配置するための空間とを有する本体と、

前記本体に配置された計器と、

前記空間に配置され、前記計器および前記電子回路に結合される制御回路とを備え、

それによって、前記計器により検出された人の生理学的パラメータを、コンピュータにインストールされたモニタ・プログラムに前記接続インタフェースを介して送ることが可能とされること。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

上部カバーおよび下部カバーと、その間に形成された、接続インタフェースを有する電子回路を配置するための空間とを有する本体と、

前記本体に配置された計器と、

前記空間に配置され、前記計器および前記電子回路に結合される制御回路とを備え、

それによって、前記計器により検出された人の生理学的パラメータを、コンピュータにインストールされたモニタ・プログラムに前記接続インタフェースを介して送ることが可能とされることを特徴とする入力装置。

【請求項 2】

前記入力装置が、マウスであることを特徴とする請求項 1 に記載の入力装置。

【請求項 3】

前記上部カバーの上面に第 1 開口が配置され、取外し可能な底部カバーと、4 つの第 2 開口と、第 3 開口とがそれぞれ前記下部カバーに配置されることを特徴とする請求項 2 に記載の入力装置。

【請求項 4】

前記計器が前記第 1 開口から露出される体温計であることを特徴とする請求項 3 に記載の入力装置。

【請求項 5】

前記計器が接触計器もしくは赤外計器であることを特徴とする請求項 4 に記載の入力装置。

【請求項 6】

前記計器が前記空間に配置された血圧および心拍計であり、前記血圧および心拍計を、前記取外し可能な底部カバーを介して前記本体から分離可能とすることを特徴とする請求項 3 に記載の入力装置。

【請求項 7】

前記計器が 4 つの検出ポイントを有する体脂肪計器であり、前記 4 つの検出ポイントが前記 4 つの第 2 開口に配置され、前記第 2 開口からそれぞれ露出されることを特徴とする請求項 3 に記載の入力装置。

【請求項 8】

前記計器が前記空間に配置された肌分析器であり、前記肌分析器を回転可能且つ前記底部カバーから突出可能とすることを特徴とする請求項 3 に記載の入力装置。

【請求項 9】

前記制御回路に結合され、前記空間に配置され且つ前記第 3 開口から露出される表示装置をさらに備えることを特徴とする請求項 3 に記載の入力装置。

【請求項 10】

前記表示装置が LCD もしくは LED ディスプレイであることを特徴とする請求項 9 に記載の入力装置。

【請求項 11】

前記接続インタフェースが PS / 2、USB もしくはワイヤレス接続インタフェースであることを特徴とする請求項 1 に記載の入力装置。

【請求項 12】

前記入力装置が好ましくはキーボードであることを特徴とする請求項 1 に記載の入力装置。

【請求項 13】

前記上部カバーにそれぞれ配置された、第 1 開口と、取外し可能な第 1 側部カバーと、4 つの第 2 開口と、取外し可能な第 2 側部カバーと、第 3 開口とをさらに備えることを特徴とする請求項 12 に記載の入力装置。

【請求項 14】

前記計器が前記第 1 開口から露出される体温計であり、前記体温計を前記第 1 開口を介

10

20

30

40

50

して前記本体から分離可能とすることを特徴とする請求項 1 3 に記載の入力装置。

【請求項 1 5】

前記計器が接触計器もしくは赤外計器であることを特徴とする請求項 1 4 に記載の入力装置。

【請求項 1 6】

前記計器が前記空間に配置された血圧および心拍計であり、前記血圧および心拍計を、前記取外し可能な第 1 側部カバーを介して前記本体から分離可能とすることを特徴とする請求項 1 3 に記載の入力装置。

【請求項 1 7】

前記計器が 4 つの検出ポイントを有する体脂肪計器であり、前記 4 つの検出ポイントが前記 4 つの第 2 開口に配置され、前記第 2 開口からそれぞれ露出されることを特徴とする請求項 1 3 に記載の入力装置。

10

【請求項 1 8】

前記計器が前記空間に配置された肌分析器であり、前記肌分析器を前記取外し可能な第 2 側部カバーを介して前記本体から分離可能とすることを特徴とする請求項 1 3 に記載の入力装置。

【請求項 1 9】

前記制御回路に結合され、前記空間に配置され且つ前記第 3 開口から露出される表示装置をさらに備えることを特徴とする請求項 1 3 に記載の入力装置。

【請求項 2 0】

20

前記表示装置が L C D もしくは L E D ディスプレイであることを特徴とする請求項 1 9 に記載の入力装置。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0 0 0 1】

本考案は入力装置に関し、特に本考案は、体温計、血圧および心拍計、体脂肪計もしくは肌分析器を備え、それによってユーザが入力装置を使用時に体温、血圧および心拍、体脂肪もしくは肌質を測定可能とする入力装置に関する。

【背景技術】

【0 0 0 2】

30

マウスあるいはキーボード等の入力装置は、一般的にコンピュータ入力（実行）もしくはメニュー選択ツールとして作動する。コンピュータが益々普及するのに伴い、ユーザは就業時間中に一層頻繁にコンピュータを使用する。しかし、マウスあるいはキーボードはきわめて安価な成熟製品とされ、したがって、従来技術のマウスあるいはキーボードには入力機能しかなく、ユーザがその体温、血圧および心拍、体脂肪もしくは肌質等の生理学的パラメータを測定することができる機能は具備しない。

したがって、それらの欠点を克服するための新規且つ改良された戦略および技術が必要とされ、本考案はそれらの欠点を新規な態様にて克服するものである。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

40

【0 0 0 3】

本考案は、概して、従来の可搬式入力装置に関連する上述の欠点を幾つかあるいは全て克服する戦略および技術に関する。

【0 0 0 4】

本考案は、体温計、血圧および心拍計、体脂肪計もしくは肌分析器を備え、それによってユーザの入力装置使用時に体温、血圧および心拍、体脂肪もしくは肌質を測定可能とする入力装置を提供することをその目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0 0 0 5】

本考案の入力装置は、上部カバーおよび下部カバーと、その間に形成された、接続イン

50

タフェースを有する電子回路を配置するための空間とを有する本体と、該本体に配置された計器と、該空間に配置され、該計器および該電子回路に結合される制御回路とを備え、それによって、該計器により検出された人の生理学的パラメータを、コンピュータにインストールされたモニタ・プログラムに該接続インタフェースを介して送ることが可能とされることからなる。

又、前記入力装置が、マウスであることが好適である。

又、前記上部カバーの上面に第 1 開口が配置され、取外し可能な底部カバーと、4 つの第 2 開口と、第 3 開口とがそれぞれ前記下部カバーに配置されることが好適である。

又、前記計器が前記第 1 開口から露出される体温計であることが好適である。

又、前記計器が接触計器もしくは赤外計器であることが好適である。

10

又、前記計器が前記空間に配置された血圧および心拍計であり、前記血圧および心拍計を、前記取外し可能な底部カバーを介して前記本体から分離可能とすることが好適である。

又、前記計器が 4 つの検出ポイントを有する体脂肪計器であり、前記 4 つの検出ポイントが前記 4 つの第 2 開口に配置され、前記第 2 開口からそれぞれ露出されることが好適である。

又、前記計器が前記空間に配置された肌分析器であり、前記肌分析器を回転可能且つ前記底部カバーから突出可能とすることが好適である。

又、前記制御回路に結合され、前記空間に配置され且つ前記第 3 開口から露出される表示装置をさらに備えることが好適である。

20

又、前記表示装置が LCD もしくは LED ディスプレイであることが好適である。

又、前記接続インタフェースが PS / 2、USB もしくはワイヤレス接続インタフェースであることが好適である。

又、前記入力装置が好ましくはキーボードであることが好適である。

又、前記上部カバーにそれぞれ配置された、第 1 開口と、取外し可能な第 1 側部カバーと、4 つの第 2 開口と、取外し可能な第 2 側部カバーと、第 3 開口とをさらに備えることが好適である。

又、前記計器が前記第 1 開口から露出される体温計であり、前記体温計を前記第 1 開口を介して前記本体から分離可能とすることが好適である。

又、前記計器が接触計器もしくは赤外計器であることが好適である。

30

又、前記計器が前記空間に配置された血圧および心拍計であり、前記血圧および心拍計を、前記取外し可能な第 1 側部カバーを介して前記本体から分離可能とすることが好適である。

又、前記計器が 4 つの検出ポイントを有する体脂肪計器であり、前記 4 つの検出ポイントが前記 4 つの第 2 開口に配置され、前記第 2 開口からそれぞれ露出されることが好適である。

又、前記計器が前記空間に配置された肌分析器であり、前記肌分析器を前記取外し可能な第 2 側部カバーを介して前記本体から分離可能とすることが好適である。

又、前記制御回路に結合され、前記空間に配置され且つ前記第 3 開口から露出される表示装置をさらに備えることが好適である。

40

さらに、前記表示装置が LCD もしくは LED ディスプレイであることが好適である。

【考案を実施するための最良の形態】

【0006】

本考案は、以下の説明により、且つ添付図面を参照することによって、さらに理解が深められよう。

【0007】

図 1 に、本考案の好ましい一実施形態による入力装置の分解図を示す。図 1 に示すように、本考案の入力装置は本体 10 (図 2 参照)、計器 20 および制御回路 30 を備える。本考案の入力装置はマウスもしくはキーボードとすることが可能とされ、説明上、図 1 から 5 に示す本考案の入力装置を好ましくはマウスとし、図 6 から 10 に示す本考案の入力

50

装置を好ましくはキーボードとする。

【0008】

本体10は、例えばABSもしくはPC、並びにこれに限らない高分子材料を成型して製作された1組の上部カバー11および下部カバー12により形成され、上部カバー11と下部カバー12の間に、PS/2、USBもしくはワイヤレス・インタフェース並びにこれに限らない接続インタフェース141を伴う電子回路14を配置する空間13が形成され、これらのインタフェースは従来技術とされ、一般のコンピュータ周辺製品に使用されているので、本書でさらに詳しくは説明しない。また、上部カバー11は少なくとも1つの左ボタン111、右ボタン112を備えるが、これらのボタン111、112も従来技術であるから、ここでさらに詳しくは説明しない。上部カバー11はまた、スクロール・ホイール15をユーザの操作に好都合のように露出させるための溝113を備える。上部カバー11はさらに第1開口114を備え、下部カバー12は取外し可能な底部カバー121、4つの第2開口122および第3開口123を備える。

【0009】

本考案の本体10に配置された計器20は、体温計21（図2参照）、血圧および心拍計22（図3参照）、体脂肪計23（図4参照）もしくは肌分析器24（図5参照）とすることが可能とされ、したがって本考案の入力装置は、体温、血圧および心拍、体脂肪もしくは肌質等、ユーザの生理学的パラメータを測定する能力を有する。

【0010】

制御回路30は空間13に配置され、且つ計器20および電子回路14に結合され、電子回路は、計器20によって検出された体温、血圧および心拍、体脂肪もしくは肌理等の生理学的パラメータを受け、且つ計器20によって検出された生理学的パラメータを接続インタフェース141を介してホスト・コンピュータ（図示せず）にインストールされたモニタ・プログラムに送り、それによってユーザの生理学的パラメータを表示、モニタおよび管理するための対応作用を生成する。

【0011】

さらに、本考案の入力装置は、制御回路30に結合され且つ空間13に配置され、第3開口123から露出される表示装置40（図2参照）を備え、表示装置40は例えばLCDもしくはLEDディスプレイとし、これに限らない。ホスト・コンピュータのシャット・ダウン状態の時もしくはホスト・コンピュータの無いところにおいては、表示装置40はユーザが別の表示方法を選択することによって計器20によって測定された生理学的パラメータを表示することが可能とされる。

【0012】

図2に、本考案の好ましい一実施形態による、検温機能を有するマウスの組立図を示す。図2に示すように、本考案の計器20を例えば接触計器もしくは赤外計器並びにこれに限らない体温計21とすると、本考案の入力装置は、体温計21が空間13に配置され第1開口114から露出される、検温機能を有するマウスとなる。ユーザは、マウスを取り上げ、額に近寄せてより正確な体温を測定することができ、本考案のマウスは体温計21によって検出された体温信号を制御回路30に送って処理し、次いで接続インタフェース141を介してホスト・コンピュータのモニタ・プログラムに送って表示するか、あるいは表示装置40に出力して表示する。

【0013】

図3に、本考案の別の好ましい実施形態による、血圧および心拍検出機能を有するマウスの組立図を示す。図3に示すように、本考案の計器20を血圧および心拍計22とすると、本考案の入力装置は、血圧および心拍検出機能を有する、血圧および心拍計22が空間13に配置され、血圧および心拍計22が取外し可能な底部カバー121（図1参照）を介して本体10から分離可能なマウスとなる。ユーザは、取外し可能な底部カバー121を開いて血圧および心拍計22を取り出し、次いで手に装着して血圧および心拍信号を測定することができ、本考案のマウスは血圧および心拍計22により検出された血圧および心拍信号を制御回路30に送って処理し、次いで接続インタフェース141を介して

ホスト・コンピュータのモニタ・プログラムに送って表示するか、あるいは表示装置 4 0 1 0 に出力して表示する。

【 0 0 1 4 】

図 4 に、本考案のさらに別の好ましい実施形態による、体脂肪検出機能を有するマウスの組立図を示す。図 4 に示すように、本考案の計器 2 0 を体脂肪計 2 3 とするとき、本考案の入力装置は、体脂肪検出機能を有する、体脂肪計 2 3 が 4 つの第 2 開口 1 2 2 に配置され第 2 開口 1 2 2 からそれぞれ露出される 4 つの検出ポイント 2 3 1 を有するマウスとなる。ユーザは、両手の 4 本の指（左右の手の親指と人差し指等）を 4 つの検出ポイントにそれぞれ置いて体脂肪信号を測定することができ、本考案のマウスは体脂肪計 2 3 により検出された体脂肪信号を制御回路 3 0 に送って処理し、次いで接続インタフェース 1 4 1 を介してホスト・コンピュータのモニタ・プログラムに送って表示するか、あるいは表示装置 4 0 1 0 に出力して表示する。

10

【 0 0 1 5 】

図 5 に、本考案のさらにまた別の好ましい実施形態による、肌理検出機能を有するマウスの組立図を示す。図 5 に示すように、本考案の計器 2 0 を肌分析器 2 4 とするとき、本考案の入力装置は、肌分析機能を有する、肌分析器 2 4 が、空間 1 3 に配置され且つ回転可能で底部カバー 1 2 から突出する 2 つの接触子 2 4 1 を備えるマウスとなる。ユーザは、底カバー 1 2 を返して接触子 2 4 1 を本体 1 0 から突出させ、接触子を肌に接触させて肌情報を分析することができ、本考案のマウスは肌分析器 2 4 により分析された肌情報を制御回路 3 0 に送って処理し、次いで接続インタフェース 1 4 1 を介してホスト・コンピュータのモニタ・プログラムに送って表示するか、あるいは表示装置 4 0 1 0 に出力して表示する。

20

【 0 0 1 6 】

さらに、本考案の入力装置は、P S / 2、U S B もしくはワイヤレス・インタフェース並びにこれに限らない接続インタフェースを有するキーボードとすることも可能とされる。図 6 に、本考案の好ましい一実施形態によるキーボードの分解図を示す。図 6 に示すように、本考案のキーボードは、本体 5 0、計器 2 0、および制御回路 3 0 を備え、計器 2 0 および制御回路 3 0 は図 1 から図 5 の計器 2 0 および制御回路 3 0 に同じであるから、計器 2 0 および制御回路 3 0 に関する説明は前述の説明を参照されたい。

【 0 0 1 7 】

本体 5 0 は、例えば A B S もしくは P C、並びにこれに限らない高分子材料を成型して製作された 1 組の上部カバー 5 1 および下部カバー 5 2 により形成され、上部カバーと下部カバーの間に、P S / 2、U S B もしくはワイヤレス・インタフェース並びにこれに限らない接続インタフェース 5 4 1 を伴う電子回路 5 4 を配置する空間 1 3 が形成される。さらに、上部カバー 5 1 の側部に第 1 開口 5 1 1、取外し可能な第 1 側部カバー 5 1 2、4 つの第 2 開口 5 1 3、取外し可能な第 2 側部カバー 5 1 4 および第 3 開口 5 1 5 を備える。また、本考案のキーボードはさらに、制御回路 3 0 に結合されるとともに空間 5 3 に配置され且つ第 3 開口 5 1 5 から露出される表示装置 4 0 を備え、表示装置 4 0 は、L C D もしくは L E D ディスプレイとされる。

30

【 0 0 1 8 】

図 7 に、本考案の別の好ましい実施形態による、検温機能を有するキーボードの組立図を示す。図 7 に示すように、本考案の計器 2 0 を例えば接触計器もしくは赤外計器並びにこれに限らない体温計 2 1 とするとき、本考案の入力装置は、体温計 2 1 が空間 5 3 に配置され第 1 開口 5 1 1 から露出される、検温機能を有するキーボードとなる。ユーザは、体温計 2 1 を第 1 開口 5 1 1 から取り出し、額に近寄せてより正確な体温を測定することができ、本考案のキーボードは体温計 2 1 によって検出された体温信号を制御回路 3 0 に送って処理し、次いで接続インタフェース 1 4 1 を介してホスト・コンピュータのモニタ・プログラムに送って表示するか、あるいは表示装置 4 0 1 0 に出力して表示する。

40

【 0 0 1 9 】

図 8 に、本考案のさらに別の好ましい実施形態による、血圧および心拍検出機能を有す

50

るキーボードの組立図を示す。図 8 に示すように、本考案の計器 20 を血圧および心拍計 22 とするとき、本考案の入力装置は、血圧および心拍検出機能を有する、血圧および心拍計 22 が空間 53 に配置され、血圧および心拍計 22 が取外し可能な第 1 側部カバー 512 を介して本体 50 から分離可能なキーボードとなる。ユーザは、取外し可能な第 1 側部カバー 512 を開いて血圧および心拍計 22 を取り出し、次いで手に装着して血圧および心拍信号を測定することができ、本考案のキーボードは血圧および心拍計 22 により検出された血圧および心拍信号を制御回路 30 に送って処理し、次いで接続インタフェース 141 を介してホスト・コンピュータのモニタ・プログラムに送って表示するか、あるいは表示装置 40 に出力して表示する。

【0020】

図 9 に、本考案のさらに別の好ましい実施形態による、体脂肪検出機能を有するキーボードの組立図を示す。図 9 に示すように、本考案の計器 20 を体脂肪計 23 とするとき、本考案の入力装置は、体脂肪検出機能を有する、体脂肪計 23 が 4 つの第 2 開口 513 に配置され第 2 開口 513 からそれぞれ露出される 4 つの検出ポイント 231 を有し、4 つの検出ポイント 231 が例えば四角の数値キーパッド周囲並びにこれに限らない箇所に配置されたキーボードとなる。ユーザは、両手の 4 本の指（左右の手の親指と人差し指等）を 4 つの検出ポイント 231 にそれぞれ置いて体脂肪信号を測定することができ、本考案のキーボードは体脂肪計 23 により検出された体脂肪信号を制御回路 30 に送って処理し、次いで接続インタフェース 141 を介してホスト・コンピュータのモニタ・プログラムに送って表示するか、あるいは表示装置 40 に出力して表示する。

【0021】

図 10 に、本考案のさらにまた別の好ましい実施形態による、肌分析機能を有するキーボードの組立図を示す。図 10 に示すように、本考案の計器 20 を肌分析器 24 とするとき、本考案の入力装置は、肌分析器 24 が空間 53 に配置され且つ回転可能とされ且つ取外し可能な第 2 側部カバー 514 から突出する 2 つの接触子 241 を備える、肌分析機能を有するキーボードとなる。ユーザは、取外し可能な第 2 側部カバー 514 を返して接触子 241 を本体 50 から突出させ、接触子を肌に接触させて肌情報を測定することができ、本考案のキーボードは肌分析器 24 により分析された肌情報を制御回路 30 に送って処理し、次いで接続インタフェース 141 を介してホスト・コンピュータのモニタ・プログラムに送って表示するか、あるいは表示装置 40 に出力して表示する。

【0022】

以上、本考案を好ましい実施形態に関して説明したが、いうまでもなく変更および変形は容易に可能とされる。

【図面の簡単な説明】

【0023】

【図 1】本考案の好ましい一実施形態による入力装置の分解透視図である。

【図 2】本考案の好ましい一実施形態による、体温検出機能を有するマウスの組立透視図である。

【図 3】本考案の別の好ましい実施形態による、血圧および心拍検出機能を有するマウスの組立透視図である。

【図 4】本考案のさらに別の好ましい実施形態による、体脂肪検出機能を有するマウスの組立透視図である。

【図 5】本考案のさらに別の好ましい実施形態による、肌質検出機能を有するマウスの組立透視図である。

【図 6】本考案の好ましい一実施形態による、体温検出機能を有するキーボードの分解透視図である。

【図 7】本考案の好ましい一実施形態による、体温検出機能を有するキーボードの組立透視図である。

【図 8】本考案の別の好ましい実施形態による、血圧および心拍検出機能を有するキーボードの組立透視図である。

10

20

30

40

50

【図 9】本考案のさらに別の好ましい実施形態による、体脂肪検出機能を有するキーボードの組立透視図である。

【図 10】本考案のさらに別の好ましい実施形態による、肌理検出機能を有するキーボードの組立透視図である。

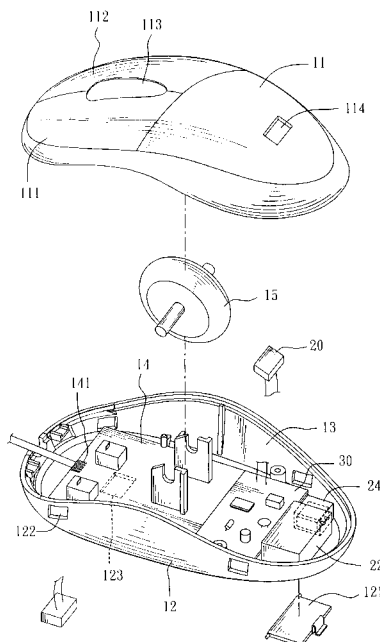
【符号の説明】

【0024】

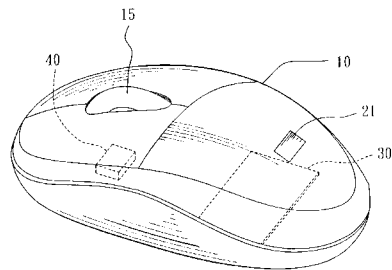
- 10、50 本体
- 11、51 上部カバー
- 12、52 下部カバー
- 14、54 電子回路
- 141、541 接続インターフェース
- 20 計器
- 30 制御回路
- 40 表示装置

10

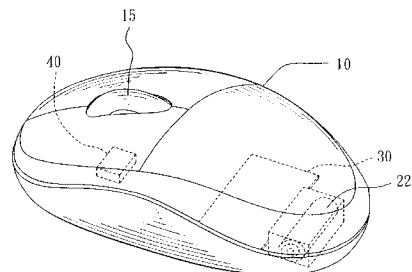
【図 1】



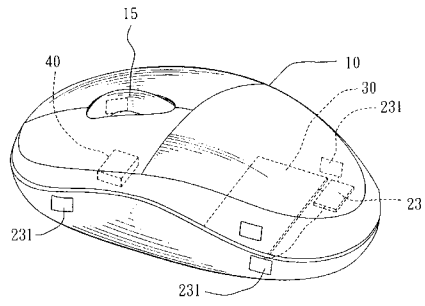
【図 2】



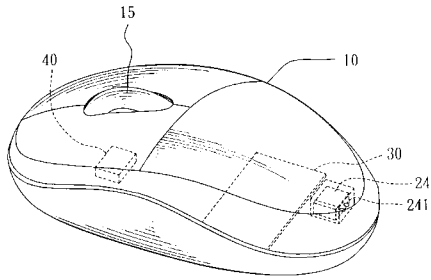
【図 3】



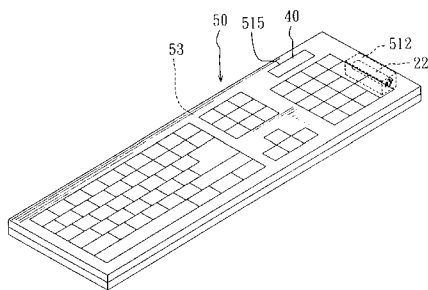
【図 4】



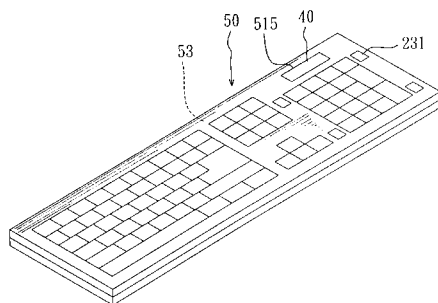
【図 5】



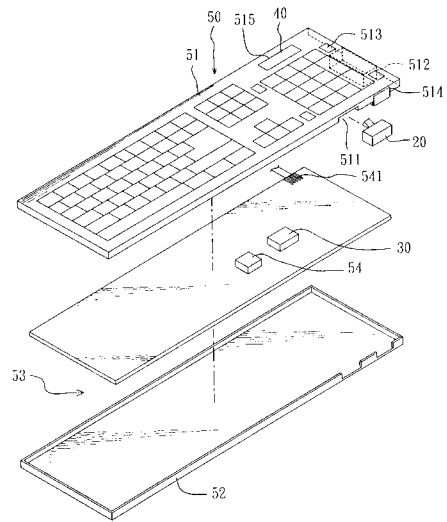
【図 8】



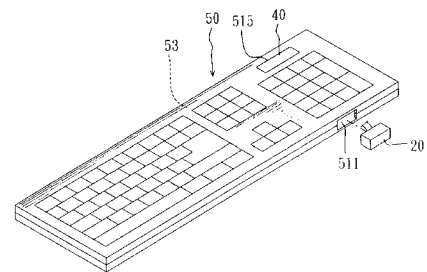
【図 9】



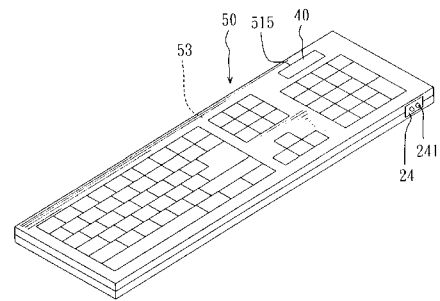
【図 6】



【図 7】



【図 10】



フロントページの続き(51)Int.Cl.⁷

F I

G 0 6 F 3/033 3 4 0 C

A 6 1 B 5/02 3 1 0 Z

(72)考案者 ホ シェン - チン

台湾 タイペイ 1 0 4 フ シン サウス ロード セクション1 ナンバー4 0 1 1エフ

(72)考案者 リン ユ - リン

台湾 タイペイ 1 0 4 フ シン サウス ロード セクション1 ナンバー4 0 1 1エフ

专利名称(译)	入力装置		
公开(公告)号	JP3111641U	公开(公告)日	2005-07-28
申请号	JP2005002340U	申请日	2005-04-15
[标]申请(专利权)人(译)	Hoshenchin Rin'yurin		
申请(专利权)人(译)	何申 - 琴 玉磷 - 磷		
当前申请(专利权)人(译)	何申 - 琴 玉磷 - 磷		
[标]发明人	ホシエンチン リンユリン		
发明人	ホ シエン-チン リン ユ-リン		
IPC分类号	G06F3/02 A61B5/00 A61B5/0245 A61B5/05 G06F3/033		
FI分类号	G06F3/02.310.K A61B5/00.M A61B5/00.101.E A61B5/00.101.K A61B5/05.B G06F3/033.340.C A61B5/02.310.Z		
代理人(译)	高桥 刚 正和高桥		
优先权	093220493 2004-12-20 TW		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

将温度计，血压和心脏速率计包括一个身体脂肪测量仪或皮肤分析仪，由此，体温在由用户，血压和心脏速率所使用的输入装置的时间，以提供输入装置，其允许身体脂肪或皮肤类型的测量。 — 一种主体，具有上盖和下盖以及在它们之间形成的空间，用于放置具有连接接口的电子电路；设置在主体上的仪表，并且控制电路设置在空间中并耦合到仪表和电子电路，由此，由仪表检测到的人的生理参数被发送到计算机能够通过连接接口将其发送到已安装的监控程序。

